

2022年2月18日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

誤嚥性肺炎入院患者における誤嚥性肺炎クリニカルパスの有用性についての後方視的研究

### 2. 研究責任者

海南病院 老年内科 野々垣 禪

### 3. 研究の概要

高齢者人口の増加に伴い誤嚥性肺炎の入院患者が増加傾向にあります。誤嚥性肺炎治療において、早期のリハビリ、経腸栄養を行うことで予後が改善すると報告されています。また、入院を契機に経口摂取が難しく経管栄養になり、転院が必要となり治療・療養についての決定が必要となり、同時に在院日数の延長につながる事があります。当院では誤嚥性肺炎クリニカルパスの利用を開始し、早期のリハビリ介入、経腸栄養の開始、退院に向けた意思決定支援を行っています。本研究は2019年1月以降に誤嚥性肺炎で入院となった方を対象に、後方視的にカルテより誤嚥性肺炎クリニカルパスの使用有無、患者背景、肺炎重症度、抗生剤治療内容、経管栄養・リハビリ開始の時期、在院日数、入院前・退院後の療養場所、入院前・退院後の栄養方法、入院中に本人と療養場所、栄養方法についての話し合いが行われたかについての情報を集積し、誤嚥性肺炎クリニカルパス利用による誤嚥性肺炎の治療、臨床経過、本人の意思決定支援への参加について評価し、誤嚥性肺炎クリニカルパスの有用性を後方視的に明らかにする研究です。

### 4. 研究方法

#### ①対象となる患者さん

2019年1月1日～2022年1月31日までに誤嚥性肺炎で入院となった方。2022年2月1日以降に誤嚥性肺炎で入院治療された方についても、適宜データの集積を行う予定です。

#### ②使用する試料等

残余検体：なし

カルテ情報：誤嚥性肺炎クリニカルパスの使用有無、患者背景、肺炎重症度、抗生剤治療内容、経管栄養・リハビリ開始の時期、在院日数、入院前・退院後の療養場所、入院前・退院後の栄養方法、入院中に本人と療養場所、栄養方法についての話し合いが行われたかについての情報を使用します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 老年内科 野々垣 禪  
電話：0567-65-2511（代表）